

▲ ▲ ▲ 奥多摩二泊三日縦走 ▲ ▲ ▲

西山 哲明

◎山行日 2021年3月23日～25日

◎メンバー 単独

[タイム]

初日奥多摩駅 7:30 発-一杯水避難小屋 14:30 着

2日目一杯水避難小屋 6:20-雲取山避難小屋 14:45 着

3日目雲取山 6:30-奥多摩駅 12:00

あまり奥多摩の山は好きではない、なんとなく暗くて陰湿なイメージを持っている。そんな気分になるのは、過去あまり晴れた日に行っていないことと、杉が密集していて山道を暗くしているせいかもしれない。それでも今の時期2泊3日で避難小屋に入れる近場の山となると奥多摩以外は考えられず、奥多摩の地図を眺めてみると奥多摩駅から直接アプローチができる川苔山経由で雲取山に向かえるルートを見つけた。

駅を降りると、よく晴れているにもかかわらず、平日ということもあり登山者はまばらであった、計画書をポストに投函して、セメント工場に向かう。でっかいセメント工場を傍で見ながら歩いていると橋に差し掛かる。桜が満開に咲いている。そういえば今年はいくらも桜を見なかったなあなどと思いながら道標を頼り進むと登山道に出た。

テントは無いとはいえ、避難小屋で食べる食材とビールがしっかりと詰まっているのでそれなりに重たい。ペースを上げないようにしてゆっくりゆっくりと登ることとした。程なくして広い登山道に出たので、何も考えずそのまま進んだら、川苔山に着いてしまった。あれ？おかしいなあと地形図を見直すと広い道を折れ曲がり細い道に入らないといけならしい。まあ川苔山も見れたしいいかと思い折り返し地点まで戻る。

しばらくは稜線歩きとなるが、巻道が多くあまり登り降りをせずに済んだのはありがたい。ただ予定では西谷の避難小屋だがあまりのんびり歩きすぎてしまったようで、5時を超えそう。しょうがないのでこの日は一杯水避難小屋に向かうことにした。途中の水場が心配だったが、数日前の雨のせいか水場は枯れておらず十分な水を確保できた。なにせ今日はシシ鍋を作る予定なので、水は必須である。

小屋に着くと自分以外に3名登山者がいた、ソーシャルディスタンスを守りつつ談笑をしながらお一人様シシ鍋を堪能できた。夜中足元があまりにも寒くて目を覚ます。さすがに夏用の寝袋では寒かったようだ。持ってきたビニールの水筒にお湯を入れて湯たんぽがわりにしてお股に挟んで寝たらポッカポカとなり快適に寝ることができた。



翌朝、ザックを背負って外に出ると、意外に暖かい、気圧もどんどん上げてきている。今日は暑くなりそうなので少し薄着で出ることにした。しばらく歩いていると向かいの山に青い屋根の小屋が見えてきた。当初予定していた西谷の避難小屋だ。なんだこんなに近いのかあ、それならこっちにすればよかったとも思ったが、昨日の食料と酒が減ったぶん荷物はずっと軽いわけで、おそらくあのまま進んでいたらこんなに早く到着しなかっただろう。

折角なので小屋を覗くと小さいが綺麗な小屋で水場も豊富だった。こちらの水場は滅多に枯れることはないとのことだ、是非是非今度はこっちに泊まろう。

長沢山に着くとまずは立派な御影石でできた標識がどんと置かれている。東京都はずいぶんと金があるなあと変なところで感心してしまう、長沢山からは緩いが登りになってきた。ずっと巻道で楽しってきたので、少し飽きてきたところだ。芋の木ドッケでしっかり登り、よし標高が結構稼げたと思ったら、そのあと急降下の下降路で少し気分がへこんだ。そんなこんなをしているうちに大きな山小屋に出くわす。雲取山の山小屋だ。すでにビールは大3缶とも飲み切っていたのでここで補充をする。水場も大切だがビール場も必要だ。ここから雲取山まではしっかりとした登りとなる。ビールで重くなったザックをよっこいしょと担ぎに登ると、この辺だけはブナの原生林になっている。苔も岩肌が生えており気分のよい登りとなった。上を見上げると明るくなってきている。雲取山山頂まであと少しですみそうだ。

何年かぶりの雲取山山頂は、晴れていて気持ちがいい、富士山もよく見える、他にも南アルプス、浅間山、大菩薩、富士山、丹沢、奥武蔵まで見渡すことができた。景色もきれいだがそれよりもビールが飲みたいので早速避難小屋に向かう。しっかりできている雲取山の避難小屋はかなりの人数が収容できそうだ。綺麗でチリひとつない。自分も汚さないようにしなくては。小屋に入ってまずは一杯ビールを飲む、プシュ、シュワー、ゴクゴク、五臓六腑に染み渡る。辛い思いをして飲むビールは格別だ。わざわざつらい思いをして運び上げビールを飲むわけだが、こういうのもマッチポンプというのだろうか。

早く着いたしうとうとしてきたので仮眠をすると、登山者が時折小屋の中を申し訳なきように覗きにくる。せっかくだからゆっくりすればいいのと思ってしまう。日も暮れてきたので食事を作る。

今夜は焼きそばだ。鍋で残った具材を適当に炒めて、焼きそばを入れようと思ったら、麺だけでソースがついていない。しょうがないのでコンソメを砕いて入れて塩胡椒で味を整えて、何故かポッカレモンが残っていたので塩レモン焼きそばを作っていた。美味しいなあ、、お腹が満ち足りる至福である。



今夜は夜景と星空の撮影をしたかったので、外に出た。月明かりでかなり明るい、まるで真昼のごとく。小屋の周りには何十頭もの丸々と太った鹿がいっぱいいて囲まれた。どれも雌のようで女子に囲まれてちょっとうれしい。星空を撮るため三脚を立てて撮影を試みたが、雲が思ったより多くあまり上手く撮れなかったが、ただ東京方面の夜景がよく見えたのはよかった。



朝起きて空を見ると結構雲が出ている、気圧も低い、雲も雨雲にすぐ変わってくるだろう。早めに身支度をして出立する。食料も無いし荷が軽い。少し早足で下山する。流石に東京都最高峰へ続く道、広いし歩きやすい。気持ちが良いので少し走りながら下山していく。この道は登るにはつらそうだが下る分には楽だなあっと思っているといつのまにか初日に見たセメント工場が見えてきた。車道まではあと少しだ。

駅に到着して、奥多摩駅の2階にあるエールのお店に入ってオーダーする。一番大きなジョッキにエールがたっぷり入っている。さらに一度頼んでみたかったダブルチーズカレーをオーダー。ビールとカレーが届いたので、早速いただく。ごくごく、パクパクと食べてふと窓をみると雨が降ってきて、窓をぬらしていた。

(了)

